

米沢市教育委員会
教育長 土屋 宏 様

米沢市立学校適正規模・適正配置等
第五中学校区地元代表者協議会
会 長 佐 藤 俊 弘

第五中学校の統合のあり方について(意見)

令和4年11月15日付け教学第1136号で依頼のあったことについて、慎重に協議を行い、下記のとおり意見をとりまとめたところです。

ついては、令和7年度の統合に向けて準備作業を進めるにあたって、この意見書の趣旨を十分にふまえた上で、子ども達にとって、統合中学校における学校生活がより良いものとなるよう取り組んでいただきたい。

記

1 第五中学校の統合のあり方について

- (1) 第五中学校の子ども達にとって学校環境が大きく変わることになるので、第一中学校における受入れに際しては、より良い雰囲気づくり、環境づくりに努めてもらいたい。
- (2) 統合にあたって、学級編制などについて、子ども達が安心して第一中学校での学校生活に移行できるよう、十分な配慮をしてもらいたい。
- (3) 統合にあたって、保護者（PTA）組織や後援会組織のあり方について、第一中学校及び第五中学校の現状をふまえた上で、より良い方法を検討してもらいたい。
- (4) 統合により、第五中学校の学区から第一中学校までの通学となり、通学の距離が相当遠くなるところも出てくるため、登下校における自転車利用や部活動による自転車利用についても十分な配慮を行い、子ども達の通学の利便性と安全性を確保してほしい。
- (5) 統合後の第一中学校までの通学においては、スクールバス等の活用も図りながら子ども達の安全確保に努めてほしい。

2 統合にあたってのその他意見等について

- (1) 統合の準備を進めるにあたり、子ども達の不安を解消することはもとより、保護者の不安の解消についても十分な配慮をしてもらいたい。
- (2) 統合準備の進捗にあわせて、中学校、小学校の子ども達及び保護者に対して、適切な情報提供を行い、将来的な不安の解消と円滑な統合を進めてもらいたい。